

共生・協働の 地域社会づくり

えい
NPO法人 頴娃おこそ会
TEL 0993 (38) 0160

地域総力戦によるまちおこし

NPO法人頴娃おこそ会は、南九州市頴娃地区で、少子高齢化・過疎化が進行し地域経済が衰退することに危機感を持った住民が、官民、商工農の枠を超えて協働し、若者が住みたいと思える魅力あるまちづくりを行うため平成17年に立ち上げ、平成19年に法人化されました。

これまでさまざまなプロジェクトを展開してきましたが、その中で最も活発なのが、観光を通じたまちおこし活動です。

開聞岳を望む風光明媚な海岸を有する番所鼻自然公園では、1ターナー者が観光養殖場「タツノオトシゴハウス」を開設したことをきっかけに、タツノオトシゴの夫婦愛にあやかる「竜のおとし子〜吉鐘〜」を公園のシンボルとして建立。その番所鼻公園を始まりに、お釜の蓋を頭に載せて参拝する願掛けが評判となった釜蓋神社、お茶畑の絶景が眼下に広がる大野岳など、眠っていた地域資源を次々と観光スポットとして磨き上げました。頴娃おこそ会ともメンバーが重なる、商工会や観光協会、若手お茶農家グループ茶寿会、地元の住



番所鼻公園に建つ「竜のおとし子〜吉鐘〜」

民組織などと連携した活動を展開し、行政も公園整備や活動助成で取り組みを後押ししました。

遊び心一杯の斬新でユニークな観光地づくり(パワースポットマップの発行、茶畑散策「グリーン・ティー・リズム」、茶寿にちなんだ大野岳の108の階段整備、夕日見学「オールエイ、s山頂での夕日」など)が新聞やテレビ、旅行雑誌に取り上げられると、それまで知覧と指宿の間にあつて通過点に過ぎなかった頴娃に多くの観光客が来訪するようになりました。

そのほか、活動資金を確保するため、サツマイモを栽培して焼酎を造る「焼酎プロジェクト」や石垣集落の古民家を地域の交流拠点として再生し商店街にかつての賑わいを呼び戻す「石垣プロジェクト」も展開中です。

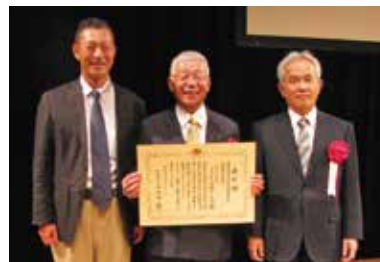
平成26年10月には、これまでの取り組みの成果が高く評価され、過疎地域自立活性化優良事例表彰総務大臣賞を受賞しました。

「この賞は、地域全体が受けたもの。これを弾みに、観光と地域の基幹産業である農業の連携によるまちおこ



元旦に参拝者の行列ができる「釜蓋神社」

しをさらに推し進め、地元の雇用を創出することで、外に出た若者が帰って来られる土台をつくりたい」と西村理事長は力を込めます。



過疎地域自立活性化優良事例表彰式

代表者からひとこと



にしむら まさゆき
理事長の西村 正幸さん

目標に向かって進めば、自然と必要なことが見えてきます。眉間に皺を寄せず、楽しくやり続けたいです。

これからも、頴娃おこそ会が、私たちにどんな「地域総力戦によるまちおこし」を見せてくれるか楽しみです。

頴娃おこそ会がさまざまな団体や行政を横でつなぎ、活動を継続してきた今、設立当初に中堅どころだったメンバーが代表などの要職を占めるようになったことで、団体間の横の連携と地域の一体感はこちらに強化され、まちづくり活動の推進力は高まっています。また、1ターナー者や若者がアイデアを積極的に出して力を発揮できる環境が作られていることから、組織や立場、世代を超えた活動が実践されています。

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。